

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会	いすみ市教育委員会
-------	------------------

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：太東小学校）

「一人一台端末を活用した算数科の学習（作図）」

メリット

- ・ 教師の一斉説明が、要点のみで済む。
⇒ 自力解決の時間を確保することができる。
- ・ 視覚的に変化を捉えられる。
⇒ 集中して課題に取り組むことができる。
- ・ スクリーンショットで保存する。
⇒ 学習内容を振り返る際に有効。
⇒ 1つの解決策を保存後、新たな解決策を考えることができる。
⇒ 個々の学習がデータとして残るので、評価しやすくなった。指導・支援の改善につながる。
⇒ 保存したものを容易に共有することができ、多様な考え方に触れることができる。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：国吉中学校）

ICT 環境整備によって実現した「教わる」⇒「学び取る」授業

準備：あらかじめタブレットの教材アプリに計算プリント、説明動画、ヒントカードなどを用意しておく。【右図】

活用場面：

- ・ シートに今日の授業の目標を記入（タブレット：協働作業）
→ 日付でシートを作成し、振り返りをしやすくなった。
- ・ 各自、自分に合った方法で学習を始める。
→ わからなくなったときに、説明動画やヒントカードなども自分のタイミングで見ることができるようになった。
⇒ 教師は生徒フォローに回る
- ・ 教師はタブレットで生徒の活用状況を把握できる。
→ 個々の状況によりの確なフォローが可能になった。
- ・ 振り返り・まとめシートに今日の授業で学んだことを記入（タブレット：協働作業）
→ 友だちの考えを吟味する時間を確保し、自分の考えをよりよいものに修正する姿が見られた。
- ・ 友だちの考えを知って、自分の考えをよりよいものにする。
→ ノートで書いて渡し合うより、各自のタブレットですぐに見ることができるので、何度でも見ることができた。

